

# 11月定例会

一

般

質

問

11月定例会では、12月4日から9日までの4日間にわたり、18人による個人質問が行われました。

## 市民クラブ

### 重要寄贈品の保管・管理体制

**問** 本市は、貴重で高額な重要寄贈品を所有しているが、保管・管理体制について、統一の規定を設け、適切に保管・管理するべきではないか。また、多くの市民が鑑賞できるようにするべきではないか。

**答** 本市所有の5千万円の絵画4点のうち、松尾敏男氏の代表作と言われる「日月譜」は、市民会館が建設された翌年の昭和49年に寄贈を受け、現在、市民会館2階ロビーに展示している。設置場所や管理方法については、関係所属で協議したい。また、重要寄贈品は、各所属で管理しているため、保管場所や展示方法に差が生じている。今後、寄贈者の意向も尊重しながら、管理及び活用方法について、基本的な考え方を整理したい。

### 文化財の保存管理

**問** 本市は、平成26年度末までに歴史文化遺産を保存、活用したまちづくりの基本構想を策定することとしている。文化財の現状の保存管理及び今後の指定・登録の考え方を伺いたい。

**答** 市内にある歴史文化遺産のうち、特に貴重なものについて、文化財指定・登録の手続きを進めている。このうち文化財建造物は、通常の維持管理はもちろん、経年劣化等に対して定期的な保存修理が必要不可欠で、適切な時期に実施する必要がある。本市所有の文化財建造物も、緊急度が高い



▲旧長崎英国領事館(国指定重要文化財)

### 恐竜化石の効果的な展示方法

**問** 9月定例会一般質問で恐竜博物館の建設について提案したが、現在、科学館では、福井県立恐竜博物館の活動等の映像を放映している。本市で発掘された恐竜化石を紹介する映像を制作する考えはないか。

**答** 現在、科学館において、福井県立恐竜博物館のビデオを借り、発掘現場の状況を放映している。また、恐竜化石は、科学館内3階にコーナーを設け、発掘された実物に合わせた恐竜パネルを展示している。今年度から3カ年事業で福井県立恐竜博物館と協同研究による発掘調査を実施しており、発掘の様子など、本市における発掘現場の状況等についての映像を制作したい。また、恐竜がいた時代の状況がイメージできるような映像や展示についてもさらに充実していきたい。

### 井戸水等の利用実態と災害時等における水質検査体制

**問** 災害時に水道が使用できなくなった場合、日常的に使用していない井戸水等を飲料水として利用するに当たっては、水質検査が不可欠だと考えるが、緊急時における本市の水質検査体制はどうなっているのか伺いたい。

**答** 給水区域内については、安全で衛生的な水道水が供給されていることから井戸水等の利用実態の把握は行っていないが、衛生的な利用方法など個別の相談には、随時対応している。水害等の緊急時には、煮沸により利用可能な井戸水等もあることから、今後、衛生的な利用について周知を図るとともに、持参された井戸水等については無料で水質検査を実施したい。また、水質検査には通常1週間程度の時間を要するが、水害等の緊急時には時間短縮に努めていきたい。

### 公園の安全対策の現状と今後の取り組み

**問** 観光地中心部の丸山公園、湊公園、松が枝公園において、飲酒によるトラブルなどが見受けられるため、安全対